

あいらの歴史と物語

連絡先：〒899-5421 鹿児島県始良郡始良町東餅田 498 始良町歴史民俗資料館 Tel.0995 (65) 1553

町指定史跡「建昌城跡」で 記念植樹祭の開催

NPO法人四季の会が主催

参加者約300人



新年度を迎えて

会長 橋本 雅晴

日ごろから、当協会の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちの活動は、町内の史跡ガイドや歴史民俗資料館の展示案内を通して、郷土の歴史・文化・風俗などを、多くの皆様にご理解をさせていただくために、2年前に発足いたしました。

当初は知名度が低くガイド件数は少なかったのですが、昨年からは県青少年研修センターや図書館講座、あるいは家庭教育学級講座などからガイド要請をいただくようになり、嬉しく思っています。あわせて昨年は大河ドラマ篤姫紀行で重富地区史跡が全国へ紹介され、実際に史跡めぐりをして郷土の歴史資源に誇りをもっていたいただいたことも大きな喜びでした。

結成三年目を迎え新規ボランティアガイド9名が加わり、今後16名で対応いたします。当協会を気軽に活用していただきますようよろしくお願いいたします。

建昌城跡の最新情報について

松元 淳一

去る2月22日(日)、「建昌城跡の森」を揺さぶる迫力のある太鼓が響き渡りました。この日、「四季の会」主催の「始良いこの森林づくり植樹祭」が、建昌城跡で開催されました。森林整備や森林環境教育推進の一環として、関係諸団体、町内各小学校、北山緑の少年団、外多数の団体の参加者で、町木のヤマザクラ、イチョウなど117本の木が植樹されました。

深く長い歴史を秘める「建昌城跡」が憩いの場・森林公園に変わろうとしています。



城光寺町長の植樹



重富小児童による植樹

馬が踊れば心が躍る

西田 實

恒例の「帖佐十九日馬踊り」が、2月22日(日)に稲荷神社の境内で行われました。当日は朝からどんよりとした空模様で、出し物の一つである「五つ太鼓」が演奏されるころにはとうとう小雨が降り始めました。

踊る馬は4頭、内3頭はポニーです。それぞれの馬の首や鞍には多くの鈴が掛けられ、鞍の上には福俵が積まれ、柳のメノモチやポンパチ(初鼓)、五色の布などが飾られています。



ハアーヨイサーヨイサー心が躍る初午祭り

出店も並んだ境内には、ところせましと見物客であふれています。

いつもは静かな境内も今日だけはと、鉦や太鼓、それに「とても見事な、八幡さまの、棟にはお鳩が巢をかける」と甲高い歌声に合わせて馬が踊り、人も踊ります。

馬の見事な足踏みに観衆は一喜一憂し、続く大勢の踊る人々のしなやかな手さばきや腰の動きに、観衆の視線も動く。まさに馬が踊る、人が踊る、観衆とともに一体となって心が躍る初午祭りの一日です。

祭りが最高潮に達したころには、先ほどの小雨もいつしか止んで、あたかも豊年満作を予言しているようでした。

初午祭りは、鹿児島に春を告げる代表的な、しかも鹿児島特有の伝統行事です。この祭りは、今から450年ぐらい前から歴史の変遷を経ながら、五穀豊穰・家内安全・家畜の多産と安産をと、神社に祈願し、奉納されてきました。旧暦1月18日が国分八幡(現鹿児島神宮)、翌日の19日が帖佐八幡の馬踊りです。19日に踊ることから「帖佐十九日馬踊り」と伝えられています。そして20日が蒲生八幡へと続きます。

平成21年度 年間活動計画

去る3月12日(木)の総会で今年度の活動計画が、次のような内容で決定しました。

- 4月9日 練習発表会①、広報誌6号発行
- 5月9日 「歩き・み・ふれる歴史の道、白銀坂」(ガイド①)
- 6月11日 練習発表会②、広報誌7号発行
- 7月17日～8月30日
特別展「数え方辞典」解説
- 7月末～8月中旬 夏休み体験学習支援
- 9月17日 研修視察、現地練習発表③
- 10月8日 特別展「始良町の神社誌」解説
広報誌8号発行
- 11月3日 重富小学校岩剣城登山支援
- 11月7日 山田史跡めぐり(ガイド②)
- 12月10日 練習発表会④
- 11月4日 練習発表会⑤
- 2月12日 広報誌9号発行

始良歴史ボランティア協会メンバー紹介

- | | |
|-----|---------------|
| 会長 | 橋木 雅晴 |
| 副会長 | 松元 淳一 |
| 書記 | 恒吉 一洋 |
| 会計 | 本多 サチ子 |
| 会員 | 藤崎 幸雄、竹之内 和仁 |
| | 吉田 茂子、濱口 純則 |
| | 恒見 勝則、芦原 秀仁 |
| | 佐土原 保子、竹之下 洲一 |
| | 西田 實、中野 則子 |
| | 松下 澄行、坂元 清美 |

(広報部より)

『あいらの歴史と物語』第6号は、歴史ボランティアの本年度の取組みと会員の紹介を主として編集、発刊しました。

今後とも新たな視点で町内の歴史・民俗を取りあげていきたいと考えています。皆さまのご支援をよろしく願います。